
医療従事者の憂鬱。

海緋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

医療従事者の憂鬱。

【コード】

N9850N

【作者名】

海緋

【あらすじ】

医療従事者の憂鬱を簡潔に。

(前書き)

個人的な意見なので、批判等はお断りします。

自力で食事が摂取できなくなってしまった人に、胃瘻いろうと言われるものが造設され、そこから栄養の摂取が行われる。胃瘻の造設を行うときにPEG（経皮内視鏡的胃瘻造設術）という方法で手術が行われる。ある1人のベテラン看護師は言った。

「PEGは、内視鏡を入れておなかの壁と胃の壁に小さな穴を開けて、そこにチューブを通します。全身麻酔ではなく、局所麻酔なので90歳のおじいちゃん・おばあちゃんもけっこう手術してます」と。確かに技術の進歩は素晴らしい。口からの食事ができなくなってしまうても生きることが出来る。だがどうだろう。ベテラン看護師も言うように、問題は90歳のおじいちゃん・おばあちゃんだ。はつきり言って、寝たきりだ。もはや「生きている」と言うより「生かされている」状態に近い。

医療技術進歩は素晴らしい。だがこれは医療医術の進歩の悲しい一面だ。今、願うべきは平均寿命を延ばす医療技術の進歩よりも、健康寿命を延ばす予防法の確立である。平均寿命と健康寿命の差が縮まった時、寿命を全うしたと感ぜられるのではないのだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9850n/>

医療従事者の憂鬱。

2010年10月22日16時53分発行